

2017年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ

**Grand
Design**

グランド デザイン

変額個人年金保険I型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する個人変額年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

お電話でのお問い合わせ先

●金融機関を通じてご加入のお客さま

ジブ ロック

ジブラルタ生命コールセンター **0120-59-2269** **通話料無料**

受付時間 平日 8:30~20:00 / 土曜 9:00~17:00 (日・祝・12/31~1/3を除く)

2018年7月作成



Gibraltar
ジブラルタ生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。
さて、2017年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

1. 市場動向(2017年4月1日～2018年3月31日)

【市場動向】

2017年度の国内市場は、堅調な企業業績や欧米政治イベントの消化を背景に株高傾向で始まりました。その後も衆議院選挙での与党大勝や米税制改革法案の進展を受け、年末にかけて株式市場は一段高となりましたが、年明け以降は、米長期金利の上昇や米中貿易戦争懸念等が嫌気されるなか弱含みでの推移が続きました。国内債券については、日銀による金融政策環境下、年度を通して値動きは限定的となりました。

米国株式市場は堅調なマクロ経済環境および企業業績や税制改革法案の進展を背景として、年末までは上昇傾向が続きました。米国債券については、トランプ政権の政策運営を巡る不透明感等が意識されるなかレンジ内での推移が続きましたが、FRBによる利上げの影響や欧州における量的緩和政策縮小観測をうけ年後半以降は金利上昇傾向となりました。年明け以降については、金利上昇が続くなか、米中貿易戦争懸念等も相俟って株式市場は大幅に調整する展開となりました。

【主な市場の動向】

	日経平均株価(円)	10年国債利回り(日本)	NYダウ平均株価(US\$)	10年国債利回り(米国)	ドル円相場	ユーロ円相場
2017年3月末	18909.26	0.065%	20663.22	2.39%	112.19	119.79
2018年3月末	21454.30	0.045%	24103.11	2.74%	106.24	130.52
変化率	13.5%	0.02%低下	16.6%	0.35%上昇	-5.3%	9.0%

2. 保有契約高

区分	件数	金額(万円)
変額個人年金保険I型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)	8	1,800

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	ユニットバリュー	運用利回り
2017年3月末	135.9374	
2017年4月末	137.2771	+0.99%
2017年5月末	139.1430	+2.36%
2017年6月末	140.2938	+3.20%
2017年7月末	140.8786	+3.63%
2017年8月末	140.8991	+3.65%
2017年9月末	143.4366	+5.52%
2017年10月末	148.2628	+9.07%
2017年11月末	148.7876	+9.45%
2017年12月末	151.6509	+11.56%
2018年1月末	151.7232	+11.61%
2018年2月末	146.7852	+7.98%
2018年3月末	146.2599	+7.59%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。
運用利回りはユニットバリューの2017年3月末からの伸び率を記載しております。

4. 資産の内訳

(2018年3月末)		(単位:千円、%)
区分	金額	構成比
現預金・コールローン	563	2.3
その他の証券	23,931	97.6
その他	13	0.1
合計	24,508	100.0

5. 運用収支状況(2017年4月1日～2018年3月31日)

(単位:千円)

項目	金額
利息配当金等収入	252
有価証券評価益	8,292
その他の収益	—
有価証券評価損	6,792
その他の費用	—
収支差計	1,752

6. 特別勘定の運用状況（特別勘定名）国内バランス50

■運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド（適格機関投資家向け）」（運用会社：PGIMジャパン株式会社）に投資することにより行います。

※運用会社のプルデンシャル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社は2017年10月1日よりPGIMジャパン株式会社へ社名を変更しました。

■運用内容

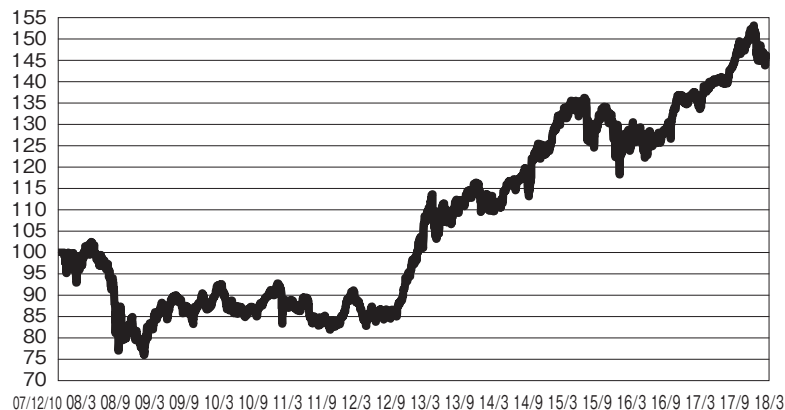
特別勘定への資金の流入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

当年度末の投資信託の組入れ比率は97.7%です。

当年度末のユニットバリューは146.2599となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は+46.26%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買付・解約により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

■ユニットバリューの推移と運用利回り



設定日：2007年12月10日

	ユニットバリュー	運用利回り
2017年3月末	135.9374	
2017年4月末	137.2771	+0.99%
2017年5月末	139.1430	+2.36%
2017年6月末	140.2938	+3.20%
2017年7月末	140.8786	+3.63%
2017年8月末	140.8991	+3.65%
2017年9月末	143.4366	+5.52%
2017年10月末	148.2628	+9.07%
2017年11月末	148.7876	+9.45%
2017年12月末	151.6509	+11.56%
2018年1月末	151.7232	+11.61%
2018年2月末	146.7852	+7.98%
2018年3月末	146.2599	+7.59%

(注) 運用利回りはユニットバリューの2017年3月末からの伸び率を記載しております。

■保有有価証券の明細

(単位：千円)

銘柄名	種別	時価額
プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド（適格機関投資家向け）	投資信託	23,931

